



なでしこ

東京都杉並区立大宮中学校 学校だより

令和2年4月14日 第2号(19-26)

発行責任者：校長 関田 誠

『なでしこの 色鮮やかに 明るく強く 優しい心で 毎日挑戦』

4/7(火)入学式式辞 『直接新入生の皆さんに話したかったな…』の話

本来であれば、冒頭に、桜の花の訪れから、一雨ごとに春の息吹を感じる今日の良き日、と始まり、地域の方々への感謝をお伝えするところです。しかし来賓の方々も在校生も参列していません。コロナウイルスの全世界的な蔓延、いわゆるパンデミックの混乱の中で、校庭で行うという前例のない形での第七十四回入学式です。

まずは、新入生A組、B組、C組、70名の皆さん、入学おめでとう。70名！皆さんの仲間は大きく増えました。この新入生の数は、ここ15年なかったことです。大宮中の門をくぐってくれたことをうれしく思います。皆さんは、いよいよ今日から、杉並区立大宮中学校一年生としての第一歩を力強く踏み出しました。今、皆さんは、体中にフレッシュなやる気で満ちていて、同時にちょっぴりの不安があると思います。ここで皆さんの二つの不安の解消を試みます。一つ目。『大宮中の二年生・三年生の上級生や先生方は優しいですか?』という不安です。皆さんは『優しい』の意味を知っていますか?『人に親切にする』という意味ではありません。この字は、人偏に憂うと書きますね。人を憂う。つまり人のことを気にかける、思いを向けるという意味です。皆さんが校内で困ったことがあったら、上級生は見過ごしません。温かく声をかけてくれます。時に間違ったことをしていたら、忠告もしてくれます。それも優しさですね。こうした結果としての親切な行動です。この、人への優しさは、大宮中の良き伝統です。つながりを大切にして絆を深めるのが大宮中の伝統ということを知ってください。



おっと。。ここで、この場に参加できな

かった、在校生代表の生徒会長、佐藤凜子さんのメッセージが届いていますので、本校校歌のピアノ演奏をバックに一緒に聴きましょう。お願いします。(放送後) どうですか?安心しましたか? もちろん、このメッセージや会場を作ってくださった、大宮中の先生方も、皆さんに優しい。皆さんを気にかけて、思いを向けます。皆さんが出来ないことを、出来るように指導することが、先生方の仕事です。そのために、皆さんに寄り添って、優しく相談に乗ってくれます。

二つ目の不安は、『中学校の授業は難しいか?』です。ここで新入生に質問です。三月からの一か月、小学校での臨時休校期間、どんな生活を送っていたか?二択です。一。毎日規則正しく生活して学習に取り組めた。二。だんだん生活が乱れ気味になった。(二が多い予想です…。一が多ければ嬉しいことですが。。。) はい。ありがとうございます。予想通りです。何で乱れたんだろうね?私が思うに、学校みたいに時間割がなかったからじゃないですか?明日から二回目の臨時休校が始まります。時間割がない場合、中学生はどうするか知っていますか?そうです。なかったら作るんです。自分で。中学生は作れます。キーワードは三つです。『DOノート』、『自分時間割』、そして『予習』。大宮中が休みの間は、自分中学校を創りましょう。今週から、金曜日に、短時間で登校日を予定しています。その日に、大宮中生が使っている、『DOノート』という生活振り返りノートを使って、

『自分時間割』の作り方を、私が紹介します。上級生の二・三年生は、『DOノート』を使って、積極的に『自分時間割』を作りました。その結果、三月からの、一ヶ月間の休校期間を、充実させてきた生徒がたくさんいます。この『DOノート』は金曜日に配ります。ぜひ、中学生になった今、自分で時間割を作ることを習慣にしましょう。(※登校日は中止です。ホームページで連絡です！)

最後のキーワード『予習』。『予習』って何ですか？『復習』は知っていますね？授業でやったことを、自宅で見直しする学習です。小学校時代の復習はおわっていますか？『予習』はその反対です。授業の前に、自宅で教科書の習っていないページを読んで、理解しようとしてみる。ワークやプリントに挑戦する。授業ノートの作り方を教わって取り組む、といった授業の先取り学習です。今日は、さっそく、新しい教科書が配られます。これからの中学校生活で必要になる『予習』を習慣にしましょう。中学校の授業は難しいか？という不安への答えは、『予習』をすれば決して難しくなく、ということです。今週金曜日の登校日から、一週間単位で、九教科の『予習』の宿題を出します。皆さんは自分時間割を作って、宿題に取り組んで、次の金曜日に提出して、次の宿題に挑戦するというサイクルです。こんな素敵な言葉があります。『良い習慣は才能を越える』。三年間DOノートを続けることができたなら、皆さんが大きな成長を得ることを、私は皆さんに約束します。難しいのは、気持ちがフレッシュな今、臨時休校の時だけ頑張るのではなく、これからもずっとコツコツ続けることです。後ろで、この話を一緒に聴いてくださっている保護者の方も、明日からの皆さんの生活が、どのように変わるか楽しみに見守ってくださいますよ。

さあ、まとめます。大宮中生は、『本当の優しさのある人々の集まり』です。『良い習慣は、才能を越えることを信じる』そして『休校中はDOノートを軸に、自分時間割で予習の課題に取り組みながら生活する』ことです。ぜひ、今日巡り逢った仲間、先生方と一緒に、登校日や臨時休校明けから、楽しく励まし合って、充実した中学校生活にしていきましょう。皆さんの楽しみにしている部活動も始まります。身体も鍛えておこう。最後は、新入生代表の佐藤禅太君の、新入生の誓いの言葉で締めます。聴いてください。(視聴後) 佐藤君の言葉で、皆さん全員の新鮮でやる気に満ちて、ワクワクしているけれど、ちょっぴり不安な気持ちが伝わりました。皆さんのことは在校生にも伝えます。あらためて、ようこそ大宮中へ！

最後になりますが、保護者の皆様、本日はお子様のご入学おめでとうございます。小学校を卒業してホッと一息つき、今日からお子様の宮中での歩みを、楽しみにしていらっしゃると思います。ただ、今年度は、コロナウイルスの感染拡大による休校措置で、我が子が授業を受けられない学習への遅れの不安。同時に学校に通わせたらコロナに感染する不安もある。こうした保護者の皆様の苦しい心情を、教職員一同で受け止めております。先ほどお伝えした通り、休校期間も、お子様への可能な限りの対応に取り組んでまいります。今、新入生のお子様には、様々な応援が必要です、ご家庭でも、お子様の様々な挑戦への応援をお願いします。そして、お子様の毎日一歩ずつ前進する姿を、教職員一同も一緒に応援させてください。約千日後の宮中を卒業する日に、振り返った時、大変な船出だったけれど、人生で大事な熱い三年間だった、と語り合いたいものです。学校・地域とともに保護者の皆様と力を合わせ、お子様を支えていただきますよう、お願い申し添え式辞といたします。😊



入学式が突然の延期で、教科書配布だけ行いました。保護者の方々は、祝電を熱心にご覧になっていらっしゃいました。